

「自然公園とジオパーク ～よりよい連携をめざして～」

近年、全国で取組が活発化しているジオパークと、我が国の自然公園(国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園)とは、自然環境の保全と利用の双方において共通点があり、各地で連携した取組が始められています。

10月15日～18日に開催される日本ジオパーク隠岐大会において、大山隠岐国立公園隠岐島地域の指定50周年を記念して、自然公園とジオパークの連携強化をテーマにしたイベントを開催します。

日時 平成25年10月16日(水) 9:00～11:45

参加費無料
事前申込不要

場所 隠岐の島町ふれあいセンター 2階会議室 (隠岐郡隠岐の島町城北町1)

主催 環境省中国四国地方環境事務所 / 共催 日本ジオパーク隠岐大会実行委員会

プログラム

基調講演 9:00～9:30 『自然公園とジオパークの
共通点と相違点』
自然公園財団 阿部 宗広氏

基調講演&コーディネーター 阿部 宗広氏

一般財団法人自然公園財団 専務理事。昭和52年に自然系技官(レンジャー)として環境庁(現環境省)に入庁後、洞爺湖自然保護官、環境省自然環境計画課長、関東地方環境事務所長を歴任する。平成24年より現職。同年より日本ジオパーク委員会の委員を務める。

事例紹介 9:30～10:45

① 霧島ジオパーク

環境省えびの自然保護官事務所

霧島ジオパークは、宮崎県と鹿児島県にまたがり、20余りの火山の集まりである霧島山を中心とし、「自然の多様性とそれを育む火山活動」をテーマにしたジオパークです。霧島の自然の特性を象徴する固有種ノカイドウの保護・保全に向けた環境省の取り組みを紹介し、さらにその成果が霧島ジオパークの魅力向上にどのように関連しているかについて紹介します。

② 島原半島ジオパーク

島原半島ジオパーク推進連絡協議会

島原半島ジオパークは、長崎県南部に位置し、雲仙火山の噴火災害からの復興と、温泉や湧水などの火山の恵みを人々の生活に取り入れた「火山と人間との共生する」ジオパークです。ジオサイトとなる登山道や園地等の施設を環境省が整備し、ジオパークが維持管理等に協力しながらイベント等で活用している事例を紹介します。

③ 隠岐ジオパーク

隠岐ジオパーク戦略会議

隠岐ジオパークは、島根県の日本海沖に点在する4つの有人島と180余りの無人島からなり、島の成立過程と離島ならではの独自の生態系や人々のくらしを体感できるジオパークです。ジオパークの取り組みを主導した住民団体「隠岐ジオパーク戦略会議」と環境省が連携して、自然観察会や環境学習会の開催、ガイドの育成などに取り組んでいる事例を紹介します。

<休憩 10:45～10:55>

意見交換 10:55～11:45

全国のジオパークを対象に実施した自然公園との連携に関するアンケート結果の発表後、連携にあたっての留意点や課題、課題解決の方向性、今後の連携のあり方などについて、パネリストと会場参加者を含めて意見交換します。

<会場位置図>



問い合わせ先 環境省中国四国地方環境事務所
松江自然保護官事務所 担当:鈴木、新中
TEL:0852-21-7626 FAX:0852-21-7639